

## バス新規運行路線の計画について（案）

### 1. 門前線の増便について

門前線は、生駒駅南口発午前 8 時 25 分から午後 5 時 15 分発の間、年末年始を除く平日に 15 便を運行しているが、道路状況から乗客定員 12 名のワゴン車を使用している。満員で乗車をお断りする便もあるため、一部便について増便し、利用者の利便性の向上を図る。

#### 【運行の概要】

- ・満員便の割合が高いうえに北新町線の運行間合いを利用できる、門前便の前又は後に増便を行うことを検討する。

（運行を検討する便）

①生駒駅南口午前 11 時発 5 便（平成 26 年度の満員便率 20.6%）

の 15 分前

②生駒駅南口午後 3 時 40 分発 12 便（平成 26 年度の満員便率 15.2%）

の 5 分後

③午後 4 時 45 分発 14 便（平成 26 年度の満員便率 30.9%）

の 5 分後

- ・各便の利用状況は、生駒駅南口乗車時点では満員でも以降の停留所では降車が大部分であり乗車は少ない状況にある。生駒駅南口への利用者は前後に運行する既存便で対応できると考えられるため、増発便は途中の山崎新町行きとする。

（資料 3-2）

- ・運賃や運行日の変更はなし。
- ・運行開始は平成 27 年 4 月以降を予定（今後の混雑度合も踏まえ、増便数を検討）

## 2. 市立病院へのバス運行について（資料3-3）

市立病院の開院は平成27年6月に予定しており、市内各地から公共交通を利用したの来院が見込まれることから、利用者の利便性の向上を図るため、生駒駅から市立病院までの路線を新設する。

本件は、次項「3. 生駒北スポーツセンターへのバス運行について」とともに、現連携計画では十分に考察されていなかった移動の目的地への公共交通サービスを提供する事例の検討である。本件のような事例が今後も出現することが考えられるため、本日の議題4「市内の公共交通のあり方」では、移動の目的地の考察についてご協議をお願いしたい。

### 【運行にあたっての前提条件等】

#### （運行区間について）

- ・市立病院の直近の駅は東生駒駅であるが、病院と駅とは約300m離れていることから、病院への交通手段が整備されれば利用者の利便性の向上につながる。
- ・病院への交通手段を整備するにあたっては、利用者の利便性の向上度合いと所要経費とを勘案すると、交通結節点となる鉄道駅から病院までの運行が妥当であると考えられる。
- ・最寄りの鉄道駅である東生駒駅には、市北部地域を運行する近鉄けいはんな線は停車しない。また、近鉄奈良線についても急行・快速急行は停車しない。
- ・バス路線は生駒駅を発着する路線が多い。
- ・生駒駅には市内公共交通が集中しており、結節点となっている。
- ・生駒駅には駅改札口の駅前広場（バス乗場）との間にエレベーターが設置されているなど、バリアフリー設備が充実している。

→以上の点から、新規公共交通路線の運行区間を、生駒駅と市立病院の間に設定することが適当であると思われる。

#### （運行手法について）

- ・市立病院の外来患者数は、1日300人と予測されている。また、外来診察は午前中のみである。
- ・外来患者数の予測値及び市地域公共交通総合連携計画策定時の平成22年に実施した、交通実態調査結果から、市立病院へのコミュニティバス利用者は、1日あたり約30人と予測される。また、乗車のピーク時の利用者数については、「活動機会を考慮したコミュニティバスの運行計画に関する実証的研究」における、兵庫県朝来市での調査によると、公共交通のダイヤ等の制約を受けないマイカーでの病院到着時刻のピークは午前9時台で、その割合は約30%となっ

ていることから、当市の事例では約 10 人と予測される。

- ・午後も、介助や見舞のために来院される方もおられ、本件路線の利用も見込まれるが、その人数は外来患者に比べると少ないと見込まれる。
- ・以上の需要予測と、運行費用をはじめとする運行の効率性を踏まえると、本路線は現在運行中のコミュニティバス路線の運行間合を利用して午前中に運行することが適当であると考えられる。

#### 【運行の概要】

- ・既運行の光陽台線、北新町線の車両を使用し、両線を市立病院線として延長運行する。
- ・午前中を中心に両線合わせて 7 往復を運行する。
- ・運賃は、生駒駅北口～市立病院間は、大人の場合 150 円、小学生と障がい者は 80 円とする。光陽台線及び北新町線から市立病院へ引き続き乗車される場合、また市立病院から光陽台線及び北新町線へ引き続き乗車される場合は、大人の場合 300 円、小学生と障がい者は 160 円とする。運行時刻については午前中を中心の運行とするが、運行時刻等詳細は今後検討する。
- ・運行開始は、病院開院に合わせ平成 27 年 6 月を予定している。
- ・運行時刻や収支率などの運行計画については、次回協議会で報告し承認をお願いしたい。

### 3. 生駒北スポーツセンターへのバス運行について (資料3-4)

市北部の高山地区において、生駒北スポーツセンターを整備しているが、全施設の整備の完了を本年度末と予定している。平成27年4月の全面供用開始にあたって、来訪者の利便性を確保すること、これまで定期路線バスの運行がなかった当該地域の交通の便を図ることを目的に既存路線バスの延長運行を行う。

#### 【運行の概要】

- ・奈良交通バス富雄庄田線の終点、傍示停留所から生駒北スポーツセンターの間1.7kmを延長運行する。
- ・運行は、土日祝日の生駒北スポーツセンター8時16分着(予定)～生駒北スポーツセンター17時28分発(予定)の1日10往復を予定。
- ・運賃は、奈良交通バスの賃率を適用(学研北生駒駅から480円を予定)。回数券を発売する。また、ICカード(CI-CA、ICOCA、PiTaPa)も利用できる。
- ・奈良交通バス富雄庄田線は、国の地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)補助金を受けて運行されているが、今回の延長運行分についても、当該補助金の交付を受ける予定。
- ・運行開始は平成27年4月を予定